

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

- ☆最初のISS構成要素打上げから1810日経過しました
- ☆第8次長期滞在クルーのISS滞在は15日経過しました
- ☆ISS動向

第8次長期滞在クルーのマイケル・フォールとアレクサンダー・カレリ両宇宙飛行士は、ISSの習熟に時間を割きました。各長期滞在クルーには最初の2週間は1日あたり1時間のセッションを実施することが義務付けられています。

またふたりは、ロシアの通信システムの定期メンテナンスを行いました。フォール宇宙飛行士は、ISSのデジタルカメラで地球を撮影し、その写真を流用して理科や社会の諸テーマで研究を行う教育プログラムであるEarthKAMの準備を行いました。EarthKAM用デジタルカメラは「デスティニー」(米国実験棟)の地球に面した窓に設置しました。

先週末に、ISSはもうひとつのマイルストーンに到達しました。2003年11月2日(日)は、ISSに人が滞在してから3周年記念でした。

また、10月21日(火)に発生し、これまでに約30万ヘクタール(神奈川県面積に相当)を焼失し現在ようやく鎮火傾向にある、ロサンゼルス周辺の山火事の様子がISSから撮影され、その画像が公開されています。ISSからでも白煙の様子がはっきりと確認できます。

日本時間10月28日(火)に帰還したマレンチェンコ、ルー、デューク宇宙飛行士はロシアのモスクワ近郊にある星の街に滞在して、帰還報告を行っています。マレンチェンコとルー両宇宙飛行士は、11月中旬に米国ジョンソン宇宙センターに戻る予定です。



フォール宇宙飛行士



カレリ宇宙飛行士

ISSから撮影した山火事
(10月26日撮影)

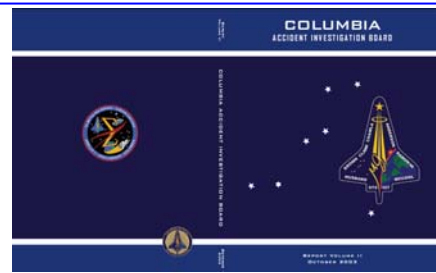
“コロンビア号事故調査報告”

コロンビア号事故調査委員会(CAIB)は、日本時間2003年10月29日(水)に事故調査結果最終報告書の第2分冊～第6分冊を公表しました。

既に公開されている第1分冊の内容の補足説明やプレゼンテーション、公聴会議事録、事故の時間経過等が含まれています。ただし、第1分冊の内容と異なる内容がある場合は、補足資料である第2～第6分冊よりも、第1分冊を優先するとしています。

報告書原文(英語)は以下のページから入手できます。

<http://www.caib.us/news/report/default.html>



事故調査結果最終報告書第2分冊表紙

“お知らせ”

今月開催されるイベントについてふたつご紹介します。

☆ Starry Starry Night; Jazzy Night at SCiLe

秋の一夜を宇宙に関する話とジャズの名曲で過ごしてみませんか。的川泰宣教授(JAXA)のトークショーもあります。

- ・日時: 11月8日(土) 午後4時～午後6時15分
- ・会場: 中央区月島 ピアノアートサロン 中央区月島3-26-17
- ・内容: トークショー&ジャズライブ(星や宇宙にちなんだスタンダードナンバーのピアノ演奏)
- ・お問い合わせ: voice@scile.net (有料イベントです)
- ・主催: 宇宙市民リーグ(SCiLe): <http://www.scile.net/>



的川泰宣教授

☆無重量セミナー「落下実験5,000回達成記念 無重量空間が創る可能性」

- ・日時: 11月27日(木) 午後1時～午後6時
- ・会場: セラトピア土岐(岐阜県土岐市土岐津町高山4番地)
- ・内容: こちらをご参照ください(<http://www1.ocn.ne.jp/~mglab/seminar.html>)。
- ・参加費: 無料
- ・申込期限: 2003年11月12日(水) まで
- ・お問い合わせ: 無重量セミナー実行委員会事務局

〒509-5121 岐阜県土岐市土岐津町高山4番地 (株)日本無重量総合研究所 内

Tel: 0572-55-0408 Fax: 0572-55-0417 E-mail: mgoffice@rose.ocn.ne.jp

- ・主催: 無重量セミナー実行委員会(岐阜県、土岐市、(株)日本無重量総合研究所)
- ・後援: 宇宙航空研究開発機構、その他



© MGLAB

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/> Eメール kibo-koho@jaxa.jp

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。